

始業式の挨拶

昨年の4月のことを覚えていますか。
部屋の中にいて、外出することすらままならなかったですね。
あれから一年たちました。
この一年間でわれわれの社会はさまざまなことを学びました。
次の一年をみなさんはどう過ごそうと考えているでしょうか。

先日、水泳の池江 璃花子さんがオリンピック東京大会の代表に内定したと報道されました。白血病という先が見えない病気にかかり、不安な毎日と今までやってきた成果が崩れ去っていく気持ちで過ごしていたことでしょう。でもオリンピック代表という成果の源となったのは彼女の頑張りだったと聞いています。たぶんその裏返しには、あきらめないという信念があったはずです。確かに彼女は頑張り屋さんなのでしょう。

先の確実な日々を過ごすことは不安です。しかしこの一年、この先の日々を信じて取り組んで欲しいと思います。

また、この四月に法政大学に進学した卒業生が、校門に立っている私のところへ来て、「先生、僕が大学に合格したのは、この学校に来たからです。」と言いました。私も彼の頑張りには聞いていましたから、夢の実現を祝福しました。

夢を信じてあきらめないという気持ちは、全ての人々がもつべきだと私は思います。少しずつでもよいので、前進しましょう。積み重ねが、きっと自信と成果を与えてくれます。